

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 6. 5

No.16



推薦入試について

進学希望者は一般入試を受けるのが一般的ですが、本校ではほとんどが指定校推薦とAO入試で受験するものが増えてきています。今回はこのことを少し説明しましょう。

指定校推薦は大学専門学校合わせてかなり多くの学校が本校を指定校にしてくれています。指定校推薦で受けると基準の評定と欠席が3年間で15日以内等の条件をクリアし、学校から推薦されれば特別のことがない限り合格となります。ところが残念ながら、この基準に合致する生徒が少なく、せっかくの指定校が活用出来ないのが実情です。

そこで最近AO入試がにわかに注目されてきています。超有名大学のAO入試は論文等を提出し厳しくチェックされ合格率5～3%等とこれまた簡単に合格させてくれませんが、それ以外の大学や専門学校では、学校の評定や欠席等関係なく、本人の意欲やオープンキャンパスに参加した際の様子等を見て合否が決まるケースが多くなっています。その意味ではかなりねらい目です。進学を考えている人は、まず自分が入りたいと考えている学校のAO入試の状況を研究してみてください。最近AO入試の時期が早まっているところもありますので、早めに資料を取り寄せたりオープンキャンパスに参加し研究してください。中にはオープンキャンパスに参加したときにAO入試の願書を配布することもあります。

縮(ちぢみ)思考にならないように

先日とりあえず締め切ったずく出せ修行への応募状況を見て感じたことは、今年の就職が厳しさが予想されていたためか皆疑心暗鬼となり、かなり内向きで縮思考に陥っているように思われました。昨年に比べて希望しても断られるケースはありましたが、一部の企業に集中し、応募企業の数が大分少ないように思われます。もう少し色々な企業への希望が出てくると私も新規開拓に努め情報も多く集まったのにと少し残念でした。

景気動向はまだ厳しさが予想されますが、最近になり少し上向き始めており、もう少し求人状況も好転してくる可能性も無いわけではありません。**皆が皆あまりに悲観的となり内向きになると、開く道も開かなくなってしまいます。**ダメ元で、もう少しお互いチャレンジ精神を持ってこれからの就職戦線に向かって欲しいものです。勿論大手の企業さんは厳しいかもしれませんが、これまで本校からあまり行っていなかった企業で良さそうなどころへ応募してみれば道は開く可能性もあります。気は持ちようです。お互い意識変革をし縮思考に陥らぬよう前向きに物事を考えましょう。

本年度(H21) 本校進路希望状況

内訳	科	工業科	普通科	定時制	合計	比率
就職	製造業	20	19	5	44	61.8%
	建設業		2		2	
	その他	2	15		17	
	小計	22	36	5	63	
進学	4年制大学	3	8		11	38.2%
	短期大学		3		3	
	専門学校	11	12	1	24	
	技術専門学校		1		1	
	小計	14	24	1	39	
その他(家事等)						
合計		36	60	6	102	100.0%



左の表は4月の調査のまとめです